

# ヨーロッパの地で挑戦し続ける

プロサッカー選手 てらうちだいと 寺内大登さん 2018年度経済経営学部卒業

## 現在の仕事

在学中からドイツに渡り、ドイツ5部リーグのチームに所属し、今季からルクセンブルクの1部リーグ Victoria Rosport というチームでプレーをすることになりました。練習は基本的に夜からの開始となるので練習までは基本的にやることはフリーです。勉強しようが練習しようがのんびりしようが、己の身に任すという感じです。私はまだ今のチームに慣れていないので、選手とコーチ陣とのコミュニケーションが非常に大事な時期であると感じています。その中でなるべく話しかけ、自分だけでなく相手のことを探りながら話しています。

サッカー自体もまだ完全にスタメンが決まっているわけではなく、監督がメンバーを調整しながら公式戦に向けてチェックしている状況なので具体的にはわかりませんが、スタメンになれるように奮闘しています。

## 海外生活の魅力や困難なこと

日本にも魅力的なことはたくさんありますが、海外で魅力的な点は日本人にはあまりない自己主張です。自分がどういう人間で自分の言いたいことをなるべく言うこと。それはサッカーをやっている人だけにかかわらず、街中やスーパーなどたくさんの場所で日常的にその様な光景がよく見られます。私自身も日本では今まで自己主張はあまりしてこなかったため、こんな自分を変えたいとも思っていました。まだ完璧には変わっていませんが、日本を離れてからの私は自分でも気づくほどに変わったと思います。



チームのサポーターやスポンサーとのパーティにおいて

また、困難といえば誰もが壁に当たるであろう言葉の壁です。私自身も会話ができない時期、理解できないときはよくあり、今でもあります。冷たい人だと呆れられ話すのをやめる人もいますし、諦めずゆっくり話してくれる人もいます。そういう経験をしてきた今、少しずつ会話が成り立つようになってきて言葉の面でも成長を実感しています。言葉だけでなく、異文化という環境に慣れることも大事です。

## 駿河台大学在学中のこと

私は在学中の3年生まで経済経営学部で学びながらサッカー部に所属していました。2年生までスポーツ寮におり、3年生からは一人暮らし

輝く  
先輩  
No.22



をしていました。4年生に上がるときに一度休学をしました。なぜならそのときにドイツへ行くことを決めたためです。そして1年の休学が終わり、残る単位もゼミだけとなりました。1年生の時から勉強面でも、さらには、サッカー部部长として面



前列一番右が寺内さん

倒を見てもらっていた南林先生のゼミに所属していたため、もう一度ドイツへ行くことを話した結果、先生は理解をしてくださり、ご指導のもと無事に卒業論文を提出し、卒業に至ることができました。

## これからのこと、後輩へのメッセージ

この先自分自身もどうなるかわかりません。しかし、目指す場所、自分がこうなりたいという目標はあります。それまで私は挑戦し続けます。後輩のみなさんにももっとたくさんのごことに挑戦し、目標や夢を見つけ達成して欲しいと思っています。

「夢がない」「やりたいことがない」と言っているだけでは何も見つかりません。もっと自分から積極的に行動すればやりたいことが見えてくるはずなので恐れず進んでください。

最後に、大学の関係者、家族、友人全ての人たちに感謝しています。みなさんのおかげで今の私があり、ここまでこれていることは間違いありません。まだまだ私は動き続け、これからももっとステップアップしていくことが皆さんへの恩返しにつながると思っていますので応援をよろしく願います。

## Profile

埼玉県立浦和東高校出身。8歳よりサッカーを始める。  
大学1年次には埼玉県大学サッカー2部リーグ新人王に選ばれる。  
2017年 ドイツ5部リーグ Victoria Arnoldsweller 所属  
2018年 同リーグ Blau weiß Friesdorf 所属  
2019年 ルクセンブルク1部リーグ Victoria Rosport に所属しMFとして活躍中。